

北海道白糠町：ソーラーグリーング（営農放牧型 再エネシステム）と蓄電池併設型 EVステーションによる地域の産業振興に資する地域共生・地域裨益型PPA事業



事業計画の特徴

- ・未利用農地を活用したソーラーグリーング（羊の営農放牧を行いながら太陽光を導入するソーラーシェアリング）により太陽光発電設備を設置し、オフサイトPPAにより学校、総合体育館、消防庁舎、役場に供給する。羊を放牧する営農放牧地を利用することで、**除草作業等の維持管理におけるコスト低減**や一次産業における**新たな雇用創出**を図り、ソーラーグリーングのモデルを確立することにより、酪農地帯での耕作放棄地問題を抱える地域に横展開する。
- ・当該公共施設間に自営線（約4km）を敷設し、蓄電池を導入。**マイクログリッドを構築**することで**非常時における地域のレジリエンスを高める**。
- ・今後、本事業により設置する太陽光発電設備と木質バイオマス発電設備の電力を公共施設に供給するための**地域エネルギー会社の創設を検討**。

事業計画の概要（公共） 再エネ：1,000kW

取組	規模
学校給食センターへの太陽光発電設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> 1件 100kW
学校給食センター等への蓄電池の導入	<ul style="list-style-type: none"> 6件 1,293 kWh
未利用農地を活用した太陽光発電設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> 1件 900kW
自営線の敷設	<ul style="list-style-type: none"> 4,061m
EV導入	<ul style="list-style-type: none"> 1台
充電設備の導入	<ul style="list-style-type: none"> 1件

事業計画の効果・費用

再エネ導入	CO2削減	事業費	交付金額	計画期間
1,000kW	11,883 t-CO2	6.9億円	4.1億円	令和6年度 ～ 令和9年度

取組のイメージ

